

(NEWSは全国人権連本部ブログに掲載してあります)

和歌山人権連 義援金3万2000円(第1次分)本部に振込 兵庫人権連(「地域と人権・兵庫版」4月1日号)

◎神戸人権交流協議会は、救援募金の目標を定め会員には、訴えを送付して取り組みをすすめています。また、宇治川支部の千木良朝天氏(県連幹事)はテレビ報道の被災状況を観て、17日より、寝袋を持参し、電車で、仙台のボランティアに参加。電話で「被害の大きさに驚いている。復興へは10年~20年かかる」との感想をのべました。現地では指示を受けて、10人ずつの隊を組んで行動し、22日までの6日間にわたって参加したとのこと。

◎西播人権連の西塚進事務局長(県連事務局次長)は、税申告相談会の最終日の3月15日、長男と二人で、午後6時に姫路を出発して、茨城県の日立市に支援物資を搬入しました。

現地には翌日の午前8時45分に到着し、支援物資を手渡し、1時間15分だけ滞在し、姫路には23時15分に帰着したとのこと。なお西塚氏からは、この他、現地の状況や途中の注意点など、「支援物資搬送顛末」として細かく報告を受けています。

◎東播人権連は、3月19日夜幹事会を開き、カンパ袋なども作成して救援募金の取り組みに全力を挙げることを確認しました。会議に参加した藤岡利顕幹事(稲美支部長)は、416年~1970年までの「地震等災害調査票」(B4・17枚)の資料を持参し、日本列島で歴史的に多発する地震状況を議論しました。。

4/1「全国災対共同支援センター」から被災地へ支援物資114箱を発送



死者1万2321人

行方不明者1万5349人

5日 10時現在

17都県2140カ所の避難所で暮らす人は16万4589人。全壊建物は9都県で4万5937戸。岩手と宮城の一部自治体で調査が進みつつあるが、福島は依然、沿岸部の把握が困難な状況が続いている。